

イノシシにおける豚コレラウイルスの動態解明及び伝播リスクの検証

研究期間	令和元年度
課題番号	3103
研究実施機関	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(動物衛生研究部門)
研究概要	<p>平成 30 年、わが国において、26 年振りに CSF が発生し、野生イノシシにおいても陽性事例が確認されています。</p> <p>イノシシにおける CSF ウイルスの病原性、ウイルス排泄量、排泄部位等については不明な点が多いため、本研究では平成 30 年度に岐阜県で発生した CSF の原因ウイルスを用いて、イノシシに対する感染試験を実施しました。</p> <p>得られた基礎的知見により、イノシシの CSF まん延に対する関与やリスクについて評価し、本病まん延防止を目的としたイノシシ対策や飼養豚での感染防止対策の一助とします。</p>
研究成果の概要	<p>国内で発生した豚熱ウイルスについて、イノシシの代替としてイノブタ及び豚を用いた感染実験により、臨床症状の発現経過、体内のウイルス分布、抗体産生等の性状を明らかにしました。その結果、長期間のウイルス排泄が明らかになったことから、野生イノシシの環境中や他のイノシシにおける CSF まん延への関与やリスクを確認しました。</p>
行政における研究成果の活用方針(令和 2 年 11 月時点)	<p>令和 2 年 2 月に、家畜伝染病予防法に基づく豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針改正に当たっての基礎データとして活用。</p>

(注)研究実施機関の名称は、研究終了時の名称を記載